



インターン生の つながる通信

～大学生からの提案～

★基礎学力の定着を目指して★

城島 優弥

★現状と課題★

簡単な計算もできないまま卒業していく子どもたちがいる！！
根本的な学習環境の改善が必要。

★提案★

「習熟度別教育の拡充」

- 小学校高学年の算数の授業で拡充する。
文部科学省のデータによると、習熟度別授業を 1/4 以上 1/2 未満で行っても、効果は低く 3/4 以上で行うと効果が上がっています。



豊中市も、習熟度別授業を 3 割程度しか行っておらず、
効果を上げるために拡充するべき！！

★歳入確保と歳出削減★

小島 秀登

★現状と課題★

少子高齢化によって歳入減少歳出増加が見込まれる。
新たな歳入確保や歳出削減の手段を見出すべき。

★提案★

「食料品の自動販売機の設置」

- 市の公共施設は様々な人々の出入りが多く需要があるはず。
- 飲料自動販売機は年間約 580 万円もの歳入を計上している。

「節水効果を持つ装置の設置」

- 技術の進歩によって安価で大きな節水効果を持つ装置が開発され、なかには 35% もの節水に成功した事例もある。
- 市はプール、老人養護施設などのシャワーなどで水を使う施設を多く保有している。



今後も歳出が増え、歳入が減ることが予想されるので、
様々な施策を模索していくべき！！

★デジタル・ディバイド★

松井 風佳

★現状と課題★

デジタル媒体を使えない高齢者に従来のサービスを提供するだけでなく、使えるように支援していくことも必要。

★デジタル媒体を使えるメリット★

1. 災害時に最新情報を入手しやすい。
2. 位置情報などで安否確認ができる。
3. ネット通販が利用できる。
4. 認知症予防、生きがいづくり。
5. 聞くより調べる習慣がつけば行政の個人対応が軽減される。



★提 案★

「Twitterのアカウント作成」

- 最新情報を提供・入手しやすく市民の声が聞きやすい。
- 利点をいかして災害時に活用できる。



「豊中市の新しいアプリを作成」

- ごみ出しカレンダー、天気、警報、マップなどたくさんのアプリを入れなくても一つで済むようになる。

行政の効率化、生活向上のために高齢者の方もデジタル媒体を使いこなせるように促していく必要がある！！

議員インターンを終えて

今回のインターンを通して、市民の声が議会を経て承認されるまでの過程を知ることが出来、身の回りの政治に積極的に参加しようと考えようになりました。また、議会傍聴や調査をしていく上で、自分が生きてきた中で全く関わらなかった人々が様々な課題を抱えていることを知って、自分の世界が広がり、様々なところに目を向けてより良い社会を作っていく重要性を改めて感じました。

城島優弥

インターン活動の一環である政策提案において、豊中市の抱えている問題やその解決策について調べるうちに、どこか遠くに感じていた市政が身近なものであると感じました。また問題を様々な視点を持って考えることの必要性を痛切に感じました。この経験を生かすことで、自分の身の回りの問題や住んでいる地域の選挙や政策などについて様々な視点を持って考えていきたいです。

小島秀登

私は約二か月間のインターンシップでたくさんの貴重な経験をさせていただきました。特に市の職員の方にお話を聞いたり、政策提案にあたって現在の課題点を調べてみて、様々な職業があることを知り、その中で私は将来カウンセラーになりたいと強く思いました。そこでこれからの大学生活でもその目標に向かって積極的に活動してたくさんの経験を積みたいと思います。

松井風佳